



2学期がスタートし、朝晩は少し、涼しさを感じるようになりました。
夏休みに人権委員会を中心に、各年次で行った現地研修について報告をします。

1 人権委員会現地研修会

8月2日（木）に新居浜市内県立学校人権委員会現地研修会が実施され、2年次の人権委員を中心に6名が参加し、高知県へ行きました。高知市立南海中学校で、教科書無償運動や紫雲丸事故について講話や資料を見学した後、廣願寺へ行き、結婚差別によって命を奪われた青年の追悼碑の前で、青年が受けた差別についてや地域の人々の思いをお聞きしました。差別の現実から目を背けず解消に向けて私たちがすべきことを考えることができました。昼食後、学習した内容について班別に意見交換会をしました。各班とも学習した内容から各自の思いを述べ合うなど、熱のこもった意見交換になりました。その後、高知市立自由民権記念館を見学しました。近代日本の歴史に大きな役割を果たした土佐の自由民権運動に関わった人々の思いや資料を一つひとつ詳しく説明してくださいました。

今回の現地研修会では、研修内容が盛りだくさんで多くのことを学ぶ機会になりました。それに加え、地域の人々が、先人の思いを受け継いで、差別解消へ向けての活動をしていることを知り、思いを受け継ぎ、行動することの大切さを学習することができました。



(教科書無償運動について)



(紫雲丸事故追悼碑)



(廣願寺・追悼碑)



(自由民権記念館)

<生徒の感想>

- ・義務教育での教科書無償が当たり前のようになっていたが、当時の親や教師が立ち上がり、活動してくれたからこそ実現したことを学び、クラスみんなにその思いを伝えたいと思った。
- ・紫雲丸の事故や結婚差別のお話は、胸が苦しくなった。生まれたところで差別されるのは許されないことだと思った。
- ・班別協議で「無知で差別は起きる」という意見が出た。知ろうとしない、知らないから表面だけ、外見だけで決めつけて差別を生むのだと思った。
- ・他校の人との意見交換では、自分だけでは出てこない意見や考えを知ることができてよかった。

2 「部落差別解消をめざす動画」撮影に参加

現地研修会に参加した2年次生で新居浜市の動画撮影に参加しました。この撮影は、現地研修会についての振り返りをする機会になりました。自分たちが学習し、感じたことが伝わるように発言することは難しかったですが、参加者で協力しながら取り組むことができました。



(役割確認など打合せ)



(座談会)

3 差別と闘った人々

7月23日(月)に、2年次の人権委員が四国中央市へ現地研修に行きました。親友館で、岩崎伊三郎さんについての講話をしていただき、学習を行いました。

<生徒の感想>

- ・親友館に行ってお話を聞かせていただいて、改めて人権・同和教育での学習が大切かを考え直すことができた。
- ・何度も先生がおっしゃっていた「学習することで身に付く差別と闘う力・差別を見抜く力・生きる力」を得られるように当事者の意識をもって、人権・同和教育に取り組んでいきたいと思う。今までどこか他人事のように考えている自分もいたので、話を聞いて思ったこと、感じたことを忘れず、誰もが人らしく生きられる世の中になるようにこれからも学習していきたい。

4 人権を守るための新居浜市の取組(新居浜市役所での聞き取り)

8月30日(木)に、3年次の人権委員が新居浜市役所へ行き、新居浜市が行っている人権を守るための取組について学習してきました。



<生徒の感想>

- ・人権を守るための様々な取組を新居浜市が行っていることを知り、参加してみたいと思った。
- ・ホームルーム活動でみんなに伝えていきたい。
- ・自分たちでも人権カルタを活用し、「お茶の間懇談会」を開催してみたいと思った。
- ・身元調査お断り運動について学習することができた。